

§34 may

課題文

趣味をもっていれば、老後も生きがいのある人生が送れるかもしれない。

文法研究

「かもしれない」の訳は？

「～かもしれない」という日本語だけで **may** と判断する学習者は多いと予想される。本問を次のように訳してはいけない。

(a) ～, you **may** enjoy your old age. (×)

(a) のように訳してはいけない理由の1つは、前項で触れた通り、〈**if**節を受ける場合はふつうは **will** にする〉(「できる」の意味を出したければ **can** も可能) ということがあげられる。だが、(a) の文の場合はもう1つ問題がある。

You may ～の意味

それは **you may** ～というコロケーションだ。**You may** ～と言われて真っ先に思いつく訳語は「～したまえ」である。この日本語からわかるように、いくぶん偉そうな言い方である。特に国王などの上の者が下の者に向かって使う言い方である。

(b) **You may sit down.**

(b) の文の訳は「座ってもよろしいですよ」か？ そんなに丁寧ではない。「かけたまえ！」である。喋っている人は国王級だ。誰かに軽く「おかけください」と言いたいのであれば次の (c) のようにする。

(c) Have a seat.

may = 「～してもよい」でよいのか？

こうなると、**may** の訳語も「～してもよい」でよいのかという疑問が生じる。例えば、**May I** ～? という疑問文なら「～してもよろしいでしょうか」という意味になるので問題ない。しかもこれはかなり丁寧な言い方だ。

(d) **May I** have your name, please?

「お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか」

may を「～してもよい」の意味で使うのはほとんど **May I** ～? のときだけである。ならば、**may** に「～してもよい」という意味もあるなどと教えずに、

May I ～? だけ決まり文句で「～してもよろしいですか」と教えた方が実践的であり、余計な間違いを防ぐことができるだろう。ちなみに、親しい友達などをお願いするなら、**Can I** ～? が適当である。

may ～, but ...

さらに、**may** を「～かもしれない」の意味で使うのは往々にして、次の文が **but** で続くときであり、いわゆる〈譲歩〉を表す構文のときである。

(f) Richard **may** be young, **but** he is equal to the task.

「リチャードは若いかもしれないが、その仕事をやる力量はある」

⇒ be equal to ～「～の能力・力量がある」

英訳例

(A) If you have something you really like to do, you can enjoy your old age.

(B) If you have something you are really interested in, you will probably be able to get more out of life in your later years.

表現研究

● 趣味

hobby は「オタク的なこと」(⇒p.64)。この場合は **hobby** でもよいが、「趣味」の訳としては **something you (really) like to do** / **something you are (really) interested in** がよい。

● 老後は

after you are old は間違い。「年を取った後」は死ぬだけである。日本語の「後」に惑わされないように。**after you retire** なら可。「老後」とは「老人の間」なので、**when you are old** / **when you get old** / **in your old age** / **in your later life** [years] などが正しい。

● 生きがいのある生活を送る

「老後」の部分と合わせて **enjoy your old age** が簡潔でよいが、**live a worthwhile** [meaningful / good / happy] **life** でもよい。**get more out of** ～「～からより多くのものを得る」もよく使う表現なので覚えておきたい。